

堂島会館前の掲示板は、地域を支えています

堂島会館前の掲示板は、地域の身近な情報発信拠点として親しまれています。

掲示板には、行政や防災に関する案内のほか、地域住民が参加できる行事や催しなど、暮らしに密着した情報が掲示されています。



堂島会館前掲示板

1月14日、堂島地域活動協議会会長の三宅一郎さん、堂島連合振興町会長の霞流喜久英さんに、掲示板の運営についてお話を伺いました。

「堂島会館の事務局員さんが掲示板の管理を担当し、掲示物の張り替えや清掃を丁寧に行ってくれています。そのおかげで見やすい掲

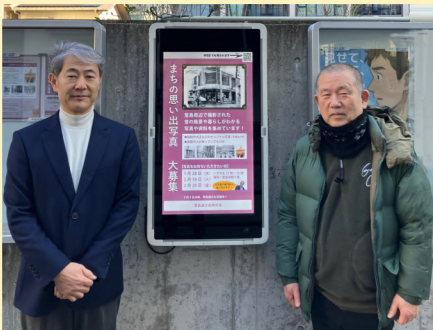
示板になっています」と三宅会長。霞流会長は、「団体の皆さんがチラシを持ってきてくださるので助かっています。自分たちが主催する行事については、チラシ作りから取り組んでいます」とのこと。近年はデジタルサイネージも活用されています。

「こちらで用意した原稿をもとに、放映用に加工してもらっています。既存の原稿を渡すだけなので、負担は少ないです」月1回の会議で情報共有を行い、各エリアの情報を相互に放映しているとか。掲示板をきっかけに他のエリアを訪れる人もおり、来訪者の増加につながる効果もあるようです。

「『掲示板を見たよ』と言われることがあり、催しを楽しみにしている方が多いと感じています」。この掲示板は人通りの多い場所にあり、地域住民だけでなく堂島で

働く人など、地域外の人の目にも留まります。そのため通りすがりの人が堂島で行われている催しを知るきっかけにもなっています。掲示板を通じて情報が共有されることで、人と人との交流が広がるわけですね。

今回の取材を通じて、日常の風景の中にある掲示板が、地域を支える大切な役割を担っていることが改めて分かりました。三宅会長、霞流会長、ありがとうございました。（ムラカミ）



(左) 三宅会長 (右) 霞流会長

地域新聞 「いきたくて」をつくってみて

創刊号から、やっちゃいました。工事現場にある仮囲いの掲示板を取材したのに、発行時にはすでに撤去済み！慌てて対象を選び直し、記事を差し替えることに。下調べの大切さ、身に沁みました…とほほ。（エトウ）

記者ボランティア募集に心躍らせ挑戦。取材や執筆、仲間との意見調整に悩みながらも全力で取り組んだかけがえのない体験。この記事が皆様のお役に立てれば幸いです。（カワグチ）

「いっちょかみ」で始めた新聞作り。会議は味のある面々との忍耐と発見の連続！ 記事を書く以上に個性が大渋滞する仲間との切磋琢磨が一番の学び。「編んだのは言葉、学んだのは人」でした。（キタノ）

この新聞作成活動に参加されている記者の皆さんのレベルの高さについて行くのが大変です。新聞読者の皆さんに興味のある記事を掲載してゆこうと、決意新たにしております。（ナンバ）



北区ええこと発見隊

知識ゼロからの挑戦。北区の街を歩き、掲示板には情報があふれていると驚きました。プロの助けを借り、仲間と悩みながら1年かけて形にした「北区の魅力」、ぜひ届きますように。（モチイ）

今号の編集長を担当したムラカミです。記者になって、今まで以上に活字を追うのが楽しく、本はもちろのこと、パンフレットやチラシも隅から隅まで読んでいます。ウェブデザイナーの後輩には「いまさら紙ですか？」と言われたのですが、やっぱり紙はええもんです。

さてみなさま、最後までご覧くださり、ありがとうございました。『いきたくて』第一号、楽しんでいただけましたか？歴史・グルメ・先進医療、北区にはワクワクドキドキがあふれています。これからも、あなたのまちの「ええこと」を取材して記事にしていきます！ご期待ください。（ムラカミ）



皆さんはじめまして、この新聞は、北区のシニアがつくるシニア向けの地域新聞「いきたくて」です。

今回の記者は総勢6名、北区社会福祉協議会が募集した「記者ボランティア求む」の案内を見て集まりました。

「新聞？ おもしろそうやん」「わたし、こんなところを紹介したいわ」「シニアがつくるシニア向けの新聞って、あるようでないよね」ということで、「地域新聞づくり作戦」が始まったのです。

家のまわりを歩くだけでも、懐かしい風景に出会えますよね。あっ、もちろん体力と相談して少し足を伸ばしてみても良いかも。新しい発見や出会い、きっと楽しいはずです。この新聞が「外、出てみよかな」というきっかけになったらいいなあ、と思い「いきたくて」という名前にしました。そして私達は「北区ええこと発見隊」。創刊号は掲示板特集です。地域の魅力を伝えるぞ！ということで、ネタ探しを始めました。

北区の広報誌やガイドブックなど情報源は色々ありましたが、まずは、住んでいるまわりを歩いてみたところ、街のいたるところに掲示板があって、ネタの宝庫だとあらためて気づいたのです。

調査エリアを広げてみたらどうだろう、病院や駅の掲示板もみてみたらどうかな、とアイデアがどんどん出てきました。

掲示板には、役所からのお知らせだけではなくて、地域の集まりや、講座の案内など、暮らしに役立つ情報がたくさん張られています。

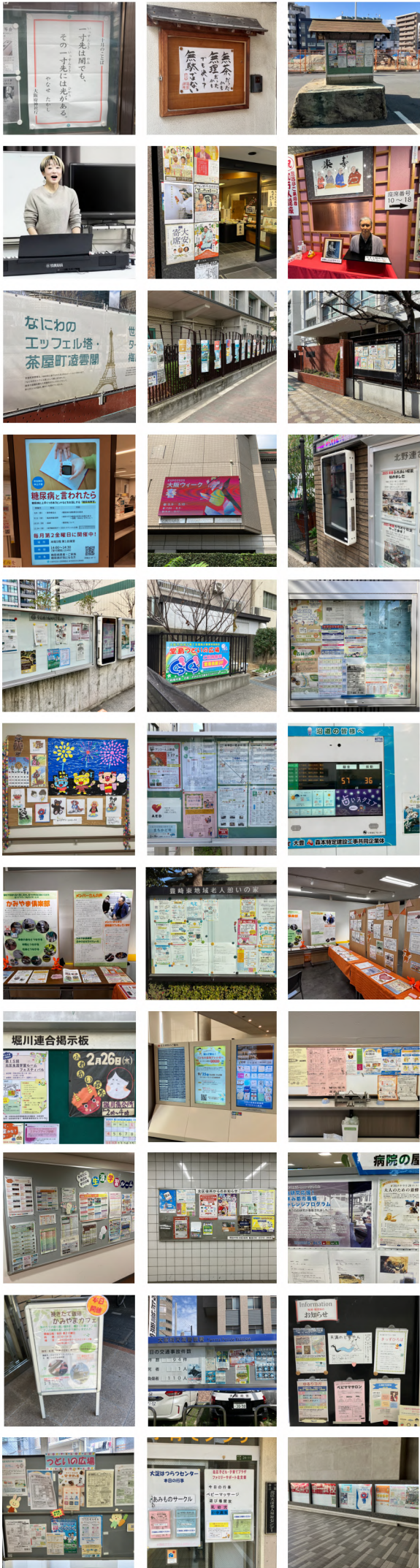
スマホには載ってないことも、掲示板には、ちゃんと残ってます。掲示板って面白いなあ、と皆が感じて、このテーマをもっと掘り下げて特集にしよう、と決まったのです。

掲示板を見ていると、「ここ、家から近いやん」「この日やったら、行けそうやな」「ほっこりするわ」そんなふうに思うことがあります。

外に出てみると、ちょっと誰かとしゃべったり、顔なじみの人に会ったりして、短い時間でも、「ああ、まちとつながってるなあ」と感じる瞬間があります。掲示板を通して、地域では今も、いろんな人が活動していて、支え合っていることを知ってもらえたら、と思っています。ちょっと立ち止まって掲示板をのぞいてみたら、「スマホじゃ見つからん」まちの思わぬ一面が見えてくるかもしれません。

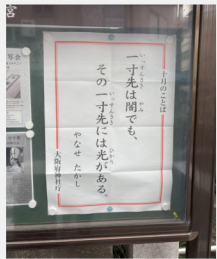
この特集が、「ほな、ちょっと行ってみよか」そんなきっかけになれば、うれしいです。

世界は掲示板であふれている



「心に沁みる」ありがた〜いお言葉

神社・お寺の掲示板「今月のことば」



「一寸先は闇でも、その一寸先には光がある」。2025年10月、大阪天満宮の掲示板に張り出されていた「今月のことば」です。

——「闇はもう十分経験してきたんやけどなぁ」と思わずつぶやいた方もおられるかもしれません。人生もこの歳になると、つまずいた数は数えきれず、「あれは無茶やったな」「あれは余計やったな」と、自己反省会は年中無休です。そんな中、北区寺町通りの瑞光禅寺で目にした言葉がこちら。

「無茶だったかも 無理だったかもでも決して 無駄ではない」

——いやいや、それをもっと早く言うてほしかったという声も聞こえそうです。

これまでの人生を振り返り、「あの選択でよかったのだろうか」と思うことのある私たちに、そっと寄り添ってくれる



言葉です。

実は、お寺の掲示板にも“コンテスト”があるそうです。

仏教伝道協会によって設立された、「輝け！お寺の掲示板大賞」というものです。

ちなみに2025年のグランプリは「自分ファーストという貧しさ」。人を思いやる気持ちの大切さを、あらためて考えさせられます。これらの掲示板の言葉は、インターネットで閲覧できます。

(<https://www.bdk.or.jp/kagayake2025/>)

教会では、聖書の一節や、教義に基づくメッセージが掲示されていることもあります。

北区には、お寺や神社、教会がたくさんあります。

散歩やお買い物の途中などお出かけの合間、ちょっと掲示板をのぞいてみてください。

説教は短く、含蓄は深く、字は大きめ。

スマホより目に優しく、検索不要で心にヒットする言葉に出会えるかもしれませんよ。

(キタノ)

人生には笑いが必要！



店主の林喜久さん曰く「20年前の繁昌亭設立時からの応援団をやっています。落語好きでもあるので、ずっと自主的に宣伝させてもらってます。」との事。そうそう、わが北区には寄席があった！

私達世代には、笑いが健康を左右するくらい大切なものと言われています。

でも、最後に笑ったのはいつだろう…と考えながら歩いていたら…見つけました！天神橋筋商店街3丁目にある老舗和菓子司 薫々堂さん店頭の掲示板に、地域のイベントとは別に天神天満繁昌亭の情報がいっぱい！

なになに、米朝師匠の生誕100周年がお誕生日の11月中開催されている？行くしかない、と思いきや65歳以上の前売り券を繁昌



亭のチケット売り場で購入。これが一番お安く購入出来る方法で、今回は2300円で落語を堪能し大笑いしました。

その後も薫々堂さんの前を通るたびに掲示板を確認して、何回か繁昌亭に行き大笑いしてリフレッシュしています。

落語は人生の教科書とも言われます。老いはネタになる！どんな老いでも笑いに変えれば人生はもっとおもしろくなれるんだということを学び、なんだか今後の人生が明るく思えてきました。

皆様もぜひ掲示板を見て、おもしろい情報に出合ってください！

(カワグチ)

私が見つけて、気に入った掲示板

掲示板で見つけた「歌うことで元気になれる歌声サロン」



北天満会館の掲示板から、歌声サロンを知ることになり、誰でも参加できるとのことでのぞいてみました。

北天満会館（第1金曜日10:30）や大淀老人福祉センター（第1金曜日13:30）などで歌声サロンを主催するのは清水明日香さん。CDアルバム制作やライブ活動を続

けるプロのミュージシャンです。歌声サロンを始めたきっかけは、「病氣と向き合うお母さんを励ましたい」という思いでした。

シニアの方と一緒に歌える場所を作りたいと考え2019年にスタートしました。

初めてでもすぐに溶け込める温かい雰囲気も魅力です。高齢になると声が出にくくなるため毎回準備体操から始め、発声練習を行いますと清水さん。無理なく声を出せる工夫をされています。

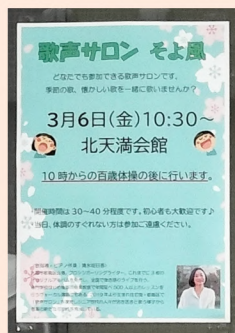
選曲は「唱歌を中心に懐かしく元氣の出る曲を心がけています。参加者の表情が明るくなる瞬間が何よりうれしいですね」と、清水さん自身も参加される方から元氣をもらっているようです。一人でも参加しやすい開かれた場所です。

人とつながり笑顔になれる居場所としての歌声サロンに、まずは気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。

歌うことで新しい元氣が生まれるはずですよ。

掲示板を見ることでこんなに楽しい情報を見つけることができました。皆さんも掲示板の前を通ったら、素通りするのではなく、何か楽しいことがないかと立ち止まって見てください。

(モチイ)



仮囲いだって掲示板

大阪の街角に、ちょっと素敵な“掲示板”があるのをご存じですか？それは、工事現場に並ぶ金属の仮囲い。かつては無機質で殺風景だったその風景が、今では少しずつ変わり始めています。イラストが描かれたり、絵画コンテストの入選作が飾られたり、大阪弁の解説が添えられたりと、道行く人の目を楽しませる工夫があちこちに。

北区でも、そんな“仮囲い掲示板”が登場しています。



豊崎東地域に設置された掲示板を利用しよう



豊崎東地域には広報掲示板が豊崎東連合振興町会加入16町会の16か所と地域の7か所計23か所が設置されています。豊崎東地域福祉コーディネーターの柴山さんに話を聞くと「掲示板の掲示作業は各町会の方や地域事務所の方が行っている。」との事です。町会に加入していると交番だよりや北区社会福祉協議会から行事案内のチラシが回覧や掲示板で見ることができます。町会に加入していなくても、設置された掲示板の案内で情報収集が可能です。地域活動協議会の行事にはどなたでも参加していただけます。この地域は賃貸の集合住宅が多く、また分譲の集合住宅は築30年～40年経過し居住者も高齢化し、北区は「高齢者が安心して暮らせる町北区」をアピールしていますが、各集合住宅の住民には広がりにくいようです。北区の情報を入手するには屋外に設置された広報掲示板からも収集することができます。

地域の掲示板は下記の場所に設置されています。

- 1.新豊崎中学校北校門と学校運動場の南側
- 2.豊崎東老人憩いの家
- 3.豊崎東小学校校門2か所
- 4.豊崎東地域事務所
- 5.淀川リバーサイド郵便局前



掲示板以外にも地域事務所やホームページからも情報を見ることができます。

- ・豊崎東地域事務所（豊崎東社会福祉協議会・豊崎東地域活動協議会・豊崎東連合振興町会）
- 北区長柄中1-7-25 06-6356-0223
- ・北区社会福祉協議会・地域活動協議会のホームページ
- ・大阪市北区のホームページ

☆各戸に配布される北区広報紙わがまち北区「Kitaku」も情報がたくさん掲載されています。(広告チラシとまちがって捨てないで下さい)

(ナンバ)

たとえば、豊崎6丁目の淀川左岸線工事現場では、上空から撮影した工事の様子をスライドショーで見られるパネルが設置され、長期工事の進捗を伝えています。また、グランドグリーン北館の西側、うめきた再開発工事現場の仮囲い



には「OSAKA UMEDA HISTORY」梅田の地名の由来から、江戸時代の風景、初代大阪駅舎の建設秘話、地下から出土したアンモナイトの話まで、「へえ」が止まらない“梅田トリビア”が絵巻物のように広がります。仮囲いは、工事が終われば撤去されてしまう儚い存在。令和8年1月末

に姿を消した豊崎西公園の治水工事現場の仮囲いには、子どもたちに人気だった占星術の占いスクエアがありました。



今では跡形もありませんが、また新しい工事が始まれば、新たな仮囲いが街に現れます。

仮囲いは、まるで街に突如現れる大きな掲示板。今日もどこかで、思いがけない遊び心に満ちた“掲示板”が生まれているかもしれません。あなたも、街歩きの中で、そんな一期一会の出会いを探してみませんか？

(エトウ)